

### 許すな改憲！不戦の日8.15

## 地域の運動で 怒りの声あげよう！



8月15日、札幌市・か  
でる2・7で「許すな改  
憲！不戦の日！8・15北  
海道集會」が開かれ約3  
00人が参加した。

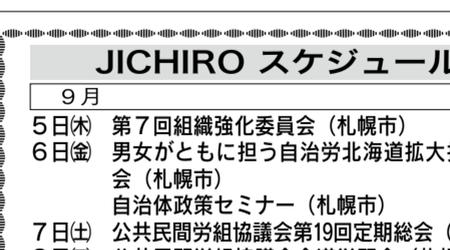
平和運動フォーラム江  
本代表は「ナチスの手  
口に学べ」と公然と述べ  
る麻生副総理や「祖父の  
夢だから改憲」と語る安  
倍総理に日本の舵取りを  
させている現状は恥だ」と述べた。

また、「参議院選挙後の  
安倍政権にどう立ち向か  
うか」と問われる憲法の平  
和主義と立憲主義」と題  
して、日本体育大学・清  
水雅彦教授が講演した。

清水准教授は「自民党  
改正草案は、憲法前文に  
ある平和的生存権規定の  
削除で「積極的平和主  
義」を放棄し、「戦争の放  
棄」を「安全保障」に変  
え、人権や人のプライバ  
シーまで制約しようとし  
ている。改憲論とむき合  
うには、理念の実現と国  
民の側からの国家制限論  
が必要だ」と述べた。さ  
らに、「政治は、世論に左  
右される。地域の運動で、  
地方から怒りの声をあげ  
なければならぬ」と呼  
びかけた。



20周年レセプションには、歴代議長や事務局長らが参加し笑顔があふれた＝8月17日



左) 悩んだポスターづくり。しだいに力が入った  
右) 地下歩行空間で市民の思いをシールで貼った

シオンは京王プラザホテ  
ル札幌で開か  
れ、北海道医療  
の設立から発展  
を支えた歴代の  
議長、事務局長  
や連合北海道、  
自治労道本部、  
北海道医療加盟  
団体の組合員64  
人が参加し、旧  
友を温め今後の  
発展を誓い合っ  
た。



原爆ドーム＝爆心地から160mの広島県物産陳列館。原爆の投下で建物は一瞬にして大破した

「被爆68周年原水爆禁  
止世界大会」は、201  
1年の東京電力福島第1  
原発事故以降、福島大会  
を皮切りに広島、長崎の  
3カ所で開催されている。  
7月28日に福島でスタ  
トした大会は全国から  
1,200人が参加した。

川野浩一大会実行委員  
長(原水禁議長)は「安  
倍政権は原発再稼働の方  
針で、原発を世界に売り  
込んでいる。核に良いも  
悪いもない。断固として  
脱原発運動を進めよう」  
と訴えた。

福島県内で生まれ育つ  
た東京大学・高橋哲哉教  
授は講演で、「今、福島を  
と述べた。

また、「参議院選挙後の  
安倍政権にどう立ち向か  
うか」と問われる憲法の平  
和主義と立憲主義」と題  
して、日本体育大学・清  
水雅彦教授が講演した。

清水准教授は「自民党  
改正草案は、憲法前文に  
ある平和的生存権規定の  
削除で「積極的平和主  
義」を放棄し、「戦争の放  
棄」を「安全保障」に変  
え、人権や人のプライバ  
シーまで制約しようとし  
ている。改憲論とむき合  
うには、理念の実現と国  
民の側からの国家制限論  
が必要だ」と述べた。さ  
らに、「政治は、世論に左  
右される。地域の運動で、  
地方から怒りの声をあげ  
なければならぬ」と呼  
びかけた。

また、「参議院選挙後の  
安倍政権にどう立ち向か  
うか」と問われる憲法の平  
和主義と立憲主義」と題  
して、日本体育大学・清  
水雅彦教授が講演した。

清水准教授は「自民党  
改正草案は、憲法前文に  
ある平和的生存権規定の  
削除で「積極的平和主  
義」を放棄し、「戦争の放  
棄」を「安全保障」に変  
え、人権や人のプライバ  
シーまで制約しようとし  
ている。改憲論とむき合  
うには、理念の実現と国  
民の側からの国家制限論  
が必要だ」と述べた。さ  
らに、「政治は、世論に左  
右される。地域の運動で、  
地方から怒りの声をあげ  
なければならぬ」と呼  
びかけた。

また、「参議院選挙後の  
安倍政権にどう立ち向か  
うか」と問われる憲法の平  
和主義と立憲主義」と題  
して、日本体育大学・清  
水雅彦教授が講演した。

清水准教授は「自民党  
改正草案は、憲法前文に  
ある平和的生存権規定の  
削除で「積極的平和主  
義」を放棄し、「戦争の放  
棄」を「安全保障」に変  
え、人権や人のプライバ  
シーまで制約しようとし  
ている。改憲論とむき合  
うには、理念の実現と国  
民の側からの国家制限論  
が必要だ」と述べた。さ  
らに、「政治は、世論に左  
右される。地域の運動で、  
地方から怒りの声をあげ  
なければならぬ」と呼  
びかけた。

### 原水禁世界大会

## 福島から広島・長崎 核兵器廃絶と世界平和求めて



「被爆68周年原水爆禁  
止世界大会」は、201  
1年の東京電力福島第1  
原発事故以降、福島大会  
を皮切りに広島、長崎の  
3カ所で開催されている。  
7月28日に福島でスタ  
トした大会は全国から  
1,200人が参加した。

川野浩一大会実行委員  
長(原水禁議長)は「安  
倍政権は原発再稼働の方  
針で、原発を世界に売り  
込んでいる。核に良いも  
悪いもない。断固として  
脱原発運動を進めよう」  
と訴えた。

福島県内で生まれ育つ  
た東京大学・高橋哲哉教  
授は講演で、「今、福島を  
と述べた。

また、「参議院選挙後の  
安倍政権にどう立ち向か  
うか」と問われる憲法の平  
和主義と立憲主義」と題  
して、日本体育大学・清  
水雅彦教授が講演した。

清水准教授は「自民党  
改正草案は、憲法前文に  
ある平和的生存権規定の  
削除で「積極的平和主  
義」を放棄し、「戦争の放  
棄」を「安全保障」に変  
え、人権や人のプライバ  
シーまで制約しようとし  
ている。改憲論とむき合  
うには、理念の実現と国  
民の側からの国家制限論  
が必要だ」と述べた。さ  
らに、「政治は、世論に左  
右される。地域の運動で、  
地方から怒りの声をあげ  
なければならぬ」と呼  
びかけた。

また、「参議院選挙後の  
安倍政権にどう立ち向か  
うか」と問われる憲法の平  
和主義と立憲主義」と題  
して、日本体育大学・清  
水雅彦教授が講演した。

清水准教授は「自民党  
改正草案は、憲法前文に  
ある平和的生存権規定の  
削除で「積極的平和主  
義」を放棄し、「戦争の放  
棄」を「安全保障」に変  
え、人権や人のプライバ  
シーまで制約しようとし  
ている。改憲論とむき合  
うには、理念の実現と国  
民の側からの国家制限論  
が必要だ」と述べた。さ  
らに、「政治は、世論に左  
右される。地域の運動で、  
地方から怒りの声をあげ  
なければならぬ」と呼  
びかけた。

また、「参議院選挙後の  
安倍政権にどう立ち向か  
うか」と問われる憲法の平  
和主義と立憲主義」と題  
して、日本体育大学・清  
水雅彦教授が講演した。

清水准教授は「自民党  
改正草案は、憲法前文に  
ある平和的生存権規定の  
削除で「積極的平和主  
義」を放棄し、「戦争の放  
棄」を「安全保障」に変  
え、人権や人のプライバ  
シーまで制約しようとし  
ている。改憲論とむき合  
うには、理念の実現と国  
民の側からの国家制限論  
が必要だ」と述べた。さ  
らに、「政治は、世論に左  
右される。地域の運動で、  
地方から怒りの声をあげ  
なければならぬ」と呼  
びかけた。

お盆が過ぎて北海道に秋の風が  
吹くと最低賃金審議会が引き上げ  
額を答申する。北海道は15円引き  
上げで734円。生活保護との乖  
離は解消されなかった。中小企業  
の経営も厳しいかもしれないが、  
生活保護費より低いのでは困る。

### 朝風

福島第一原発の汚染水問題が深  
刻だ。大量の汚染水が海に流れ、  
果てしなく増え続ける汚水貯蔵タ  
ンクからも大量に汚染水が漏れて  
いる。空気も土壌も海も放射能で  
汚染し世界中に広がっている。そ  
れでもまた原発をつづけたいのか。



第26回反核平和の火リレー  
走りつないだ平和の火

今年で26回目を迎えた  
「反核平和の火リレー」  
は、8月9日、札幌市大  
通公園の到着集會をもっ  
て無事終了した。  
7月23日に幌延町をス  
タートしてから全道17  
9自治体すべてに火をつ  
なぎ、「脱原発社会の実  
現」と「戦争のない平和  
な社会の実現」を訴えた。  
昨年よりも711人多い

8,338人がリレー運  
動に参加し、各地の住民  
に「平和の尊さ」を積極  
的にアピールした。  
泊原発の再稼働問題  
や、憲法改正の動きが強  
まる中、26年間つづけた  
伝統ある「反核平和の火  
リレー」の取り組みだ。  
走りつないだ「平和の  
火」と「思い」を絶やすこ  
となく、誰もが安心して  
暮らせる平和な社会の実  
現のために、今後も継続  
して取り組みが必要だ。

JICHIRO スケジュール	
9月	
5日(休)	第7回組織強化委員会(札幌市)
6日(金)	男女がともに担う自治労北海道拡大推進委員会(札幌市)
	自治体政策セミナー(札幌市)
7日(土)	公共民間労組協議会第19回定期総会(札幌市)
8日(日)	公共民間労組協議会全道学習会(札幌市)
9日(月)	第28回執行委員会(札幌市)
	第5回拡大闘争委員会(札幌市)
12日(休)	地公三者・道人事委員会交渉
14日(出)	平和行動in根室(～15日、根室市)
19日(休)	地公三者「道人事委員会」副知事」交渉

### STOP! 泊原発の再稼働

さようなら原発北海道集會 in いわい

とき 10月5日(出) 13:00～15:00

雨天決行!

集會 = 13:00～14:00  
デモ = 14:00～15:00

会場 岩内町フェリー埠頭緑地

さようなら原発1000万人アクション実行委員会

原発のない北海道の実現を求める  
「全道100万人」署名実施中!

# 全国第35回 保育集 公立施設の役割再認識

## ゆったり湯ったり子どもの未来話そうえ

「きちよくれ大分 ゆったり湯ったり子ども未来話そうえ」をテーマに、第34回全国保育集が8月10日〜12日まで3日間、大分県・大分市で開かれ、全国から約1,400人(北海道から11単組・21人)の仲間が参加した。



歓迎アトラクション『禅海少年太鼓「和」』ではじまった全国保育集会=8月10日、大分文化会館

海少年太鼓「和」で歓迎された。基調講演は、大分市高崎山管理公社の動物園で働く木本智さん(組合員)が「高崎山のサル社会について」サルからヒトへ忘れた物への気づき」と題して、サルの出産シーンや、歩く距離を少しずつ長くしていく訓練を母ザルが行っているように、二つの群れを制したボスザルのエピソードにもつづいたサルの子育てを、ユーモアあふれる講演で会場を沸かせた。

2日目は、「子育てを支えつなぐ地域の連携」などテーマごとの分科会で、子育て環境が大きく

変化する中、子育て支援にどう取り組むのかなど、人権、育ち合う保育、食物アレルギー、保育の質の向上、保育制度改革

について議論した。3日目は「自治労の保育運動」など4つの分科会や災害時の対応、虐待問題、保護者対応のステップアップ講座、フィードバックが開かれ、テーマごとに学習と交流を深めた。

現在、「子ども・子育て会議」で議論がすすめられていくことの重要性を確保できる有意義な集会成为った。

### 参加してよかった!



富良野市労連 野村 国広さん

日頃の防災訓練はムダじゃない。一番印象に残り、みなさんに伝えたいことは、福島の方が防災の講座で話した、「3・11以来、いまだに自宅に帰れない現状がある」ということ。また、園で想定できる訓練は、日頃からやっ

ていてムダではないということでした。自分の職場に戻り、しっかりと生かしたいと思いました。とても頑張りました。

日常では経験できない視点学んだ。全国の保育に携わる多くの方々と、食物アレルギーと発達障害児支援に



保育集キャラクター「かぼすぎー」

## あいくみの国会だより



参議院選挙2期目の挑戦で、組合の皆さんや他産別の働く仲間から無関係では暮らせません。自治労の大きなご支援を頂き、自治労としての議席を守ることができました。民主党としては、大変に厳しい結果と子どもたちの将来、働く現場、老後を含めた社会保障、平和問題と課題は山積しています。個人でなつたことはご承知の通りです。投票は解決できないから、納税し政治に票を投じている。その皆さんの思いに託している。その皆さんの思いに託して、著しく低下した原因は民主党にあるべく、今後の6年間、しっかりと頭を悩ませます。ともにたたかいます。頑張る決意です。ともにたたかいます。頑張りましょう! (8月19日東京にて)

## 来年の保育集会は7/11からさいたま市で!

来年の全国保育集会は例年より早く、7月11日から13日まで、埼玉県・さいたま市で開かれる予定になっている。今から参加の準備をしよう! 次号は、8月31日〜9月1日に開く全道保育集会・福祉・介護集会の内容を伝える。

訂正とおわび  
前号2075号3面、野球大会写真でキャプションに「昨年(の全道野球大会)」と記載していましたが、「昨年」の誤りです。訂正しおわびします。

### ファイターズ観戦チケットプレゼント

9月23日 統一応援デー

9月23日(月)日本ハムファイターズの観戦チケットC指定席(楽天戦)2枚をプレゼントする。希望者はメールに件名「ファイターズチケット」、お名前、単組名(所属の組合)、連絡先電話番号を記入して送ってください。

締め切り 9/17(水)

がんばれファイターズ!!  
自治労北海道本部

メールアドレス  
douhonbu@jichiro-hokkaido.gr.jp

## 笑顔もらった「キッズパーク」



職場だより

【後志地本発】岩内町職労青年女性部は、8月3〜4日の「第41回いわな怒濤まつり」に、1、2年目の組合員を中心として、ボランティアで子ども縁日広場、通称「キッズパーク」を催しました。「子どもたちを笑顔に!」をコンセプトに、1ヵ月以上前から、何を喜んでくれるのかを話し合い、最終的に3種類の遊びに決めました。1つ目は「ふわふわ」で、大きな風船のような人形の中で子どもたちが飛び跳ねて遊ぶアトラクション。保育士も中に入り、子どもたちの遊び相手に、安全面にも考慮し

た結果、常に行列の大盛り況でした。2つ目が「何でもすくい」。ピー玉や人形などを水に浮かべてお玉ですくうシンプルなもの。小さな子でも簡単にできるので何回も来てくれる子どもいました。3つ目が「トロピカルジュース」。天候に恵まれ子どもに限らず幅広い世代に味

わっていただきました。組合員同士が企画・運営したキッズパークですが、逆に子どもたちから「大人を笑顔に!」してもらえる、そんな心が温まったお祭りになりました。(岩内町職労青年女性部・中川貴嗣)

子どもたちに一番人気だった「ふわふわ」

幅広く好評だった「トロピカルジュース」

「何でもすくい」には何度も来てくれる子ども

### 忙中余話

北海道医療 だとう。しかし、さまざま格差が広がっている。北海道医療は道内各地域・拡散の地域事情による独自課題があったためだ。その当時の先輩の決断は大正解だったと言いたい。社会保障は小泉・安倍の自民党政権下で縮小されてきた。社会保障制度改革国民会議は、「自助」を基本とし、「共助」が支えることを求めている。参加者と先達の皆さんに深く感謝。(居橋真人)